

四半期報告書

(第25期第2四半期)

自 平成21年7月1日
至 平成21年9月30日

株式会社ピエトロ

(E00513)

表紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	3
3 関係会社の状況	3
4 従業員の状況	3

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	4
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況	7
----------	---

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	9
(6) 議決権の状況	10

2 株価の推移	10
---------	----

3 役員の状況	10
---------	----

第5 経理の状況	11
----------	----

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	12
(2) 四半期連結損益計算書	14
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16

2 その他	22
-------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報	23
-------------------	----

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社ピエトロ
【英訳名】	PIETRO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 邦彦
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理本部長 池田 邦雄
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理本部長 池田 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 前第2四半期 連結累計期間	第25期 当第2四半期 連結累計期間	第24期 前第2四半期 連結会計期間	第25期 当第2四半期 連結会計期間	第24期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高 (千円)	4,562,442	4,337,256	2,343,610	2,221,383	8,651,578
経常利益 (千円)	31,422	380,638	26,117	189,848	98,675
四半期(当期)純利益 又は純損失(△) (千円)	△123,748	299,159	△95,328	112,044	△427,391
純資産額 (千円)	—	—	2,720,354	2,628,109	2,398,904
総資産額 (千円)	—	—	7,556,209	7,356,168	7,057,681
1株当たり純資産額 (円)	—	—	486.53	467.93	429.04
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は純損失金額(△) (円)	△22.13	53.50	△17.05	20.04	△76.44
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	36.0	35.6	34.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	186,846	429,764	—	—	383,792
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△73,604	△57,188	—	—	△136,885
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△57,621	△206,465	—	—	△255,881
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	822,765	919,295	752,920
従業員数 (人)	—	—	191	190	183

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第25期第2四半期連結累計(会計)期間は潜在株式が存在しないため、また、第24期第2四半期連結累計(会計)期間及び第24期は1株当たり四半期(当期)純損失であり、かつ潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	190	（441）
---------	-----	-------

（注）1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数の（ ）は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員（1日7.5時間換算）であり、外書であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	166	（327）
---------	-----	-------

（注）1 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除く）であります。

2 従業員数の（ ）は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員（1日7.5時間換算）であり、外書であります。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	生産品目	数量 (k1)	前年同四半期比 (%)
食品事業	ピエトロドレッシング	648	106.1
	ピエトロドレッシング グリーン	137	123.0
	ピエトロドレッシング ライトタイプ	100	100.7
	その他	192	88.4
	小計	1,078	103.7
レストラン事業	業務用 (食材) ドレッシング等	111	90.2
合計		1,190	102.3

(注) 数量は生産容量によっております。

(2) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

事業の種類別セグメントの名称	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
食品事業	1,196,259	106.6
レストラン事業	986,527	83.8
その他の事業	38,596	86.9
合計	2,221,383	94.8

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間における主要な販売先 (総販売実績に対する割合が10%以上) に該当するものではありません。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間（平成21年7月～平成21年9月）におけるわが国経済は、在庫調整の進展や生産の復調により景気が回復傾向にあるものの、雇用・所得環境の悪化によって個人消費が低迷するなど厳しい状況で推移いたしました。食品業界及び外食業界におきましても、消費者の節約志向・低価格志向が強まり、企業間競争が一層激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、さらなるブランド価値向上を図るため、「おいしさ」と「健康」にこだわった付加価値の高い商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は、食品事業部門が前年同期を上回るなど好調に推移した一方で、レストラン事業部門における店舗再編等の影響があり、22億21百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

利益面では、食品事業部門の売上増による収益改善、広告宣伝費をはじめとした販管費の削減、さらに原材料コストの改善を図ったことなどから、営業利益は2億円（前年同期比1億62百万円の増益）、経常利益は1億89百万円（前年同期比1億63百万円の増益）、四半期純利益は、1億12百万円（前年同期は95百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりであります。

①食品事業

食品事業においては、ブランド重視の販売戦略を継続するとともに、健康志向の高品質商品の開発に取り組んでまいりました。

ピエトロ商品の美味しさを訴求した地域密着型小売店への営業を強化したことにより、主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン）やパスタ関連商品（スパドレ、パスタソース）を中心に好調に推移しました。

通信販売においては、プレミアム商品（ピエトロファーマーズシリーズ）の新商品や期間・数量限定の企画商品など品揃えを充実させたことにより、新規のお客様が順調に増加し、前年同期の売上を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は11億96百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は3億96百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

<平成21年度（7月～9月） 新商品>

	商品名
平成21年9月	ピエトロドレッシング たまねぎと塩

<平成21年度（7月～9月） 通信販売限定新商品>

	商品名
平成21年8月	鯛と香味野菜のペペロンチーノ風絶望スパゲティ 村田厨房直送便「夏便り」
平成21年9月	蟹と蟹みその本格トマトソース（リニューアル）

②レストラン事業

レストラン事業においては、消費者の節約志向による「内食」への回帰など、外食を控える傾向が依然として続いており、厳しい環境で推移いたしました。しかしながら、当社グループは、多彩なメニューの展開と既存店活性化策の実施などにより、集客力と収益性の向上を図ってまいりました。

地域性やお客様のニーズにあわせたサービスを実施し、愛犬と一緒に食事ができるドッグカフェを新設いたしました。

また、レストラン事業の再構築の一環として進めてまいりました店舗の閉鎖につきましては、本年8月までに完了しております。

以上の結果、売上高は9億86百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益は95万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

<平成21年度（7月～9月） レストランフェアメニュー>

	商品名
平成21年7月～8月	冷製パスタフェア
平成21年9月	カルボナーラフェア

<店舗数の増減>

	第1四半期末	増加	減少	当第2四半期末
直営店	39 (1)	1 (－)	5 (－)	35 (1)
F C店	36 (1)	－ (－)	1 (－)	35 (1)
合計	75 (2)	1 (－)	6 (－)	70 (2)

(注) ()内は、海外の店舗数で内書であります。

③その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、売上高は38百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益は18百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前四半期連結会計期間末に比べ96百万円増加し、73億56百万円となりました。これは、現金及び預金が2億39百万円増加する一方、敷金及び保証金が75百万円、売掛金が53百万円、建物及び構築物（純額）が11百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債合計は前四半期連結会計期間末に比べ13百万円減少し47億28百万円となりました。これは、短期借入金が2億円、未払法人税等が27百万円、賞与引当金が22百万円、その他の固定負債が46百万円それぞれ増加する一方、長期借入金が1億55百万円、その他の流動負債が1億53百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前四半期連結会計期間末に比べ1億10百万円増加し26億28百万円となりました。これは、四半期純利益1億12百万円の計上等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前四半期連結会計期間末に比べ2億20百万円増加し、9億19百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、食品事業において主力ドレッシングやパスタ関連商品の販売が好調だったこと等により、前年同四半期に比べ1億50百万円増の2億17百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等が増加した一方で、定期預金預入の減少及び敷金・保証金の回収などにより、前年同四半期に比べ10百万円減の17百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期が借入の返済などにより52百万円の支出だったのに対し、当四半期は短期借入等により21百万円の収入となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発費は販売費及び一般管理費に含まれており、その総額は14百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、以下の設備が新たに当社グループの主要な設備となりました。

当該設備の状況は、以下のとおりであります。

提出会社

事業所名 (所在地)	事業の種類別セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額 (千円)					合計
			建物及び構築物	機械装置及び運搬具	土地 (面積㎡)	リース資産	工具器具備品	
店舗他 (福岡・関東地区)	レストラン事業	店舗 POS 設備	—	—	—	48,879	—	48,879

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

- 1 当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。
- 2 前四半期連結会計期間末において計画中であったレストラン店舗の閉店については、当第2四半期連結会計期間において5店舗の閉店を実施しております。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登 録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,591,630	5,591,630	東京証券取引所市場第二部	単元株式数100株
計	5,591,630	5,591,630	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	5,591,630	—	474,400	—	516,922

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社ムラタ	福岡市西区西の丘1丁目3番3号	1,143	20.45
日清オイリオグループ株式会社	東京都中央区新川1丁目23番1号	1,120	20.02
村田 邦彦	福岡市南区	380	6.79
西川 啓子	福岡市西区	374	6.69
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	203	3.63
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13番1号	70	1.25
ピエトロ従業員持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	53	0.96
第一生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフ イスタワーZ棟)	52	0.93
ピエトロ取引先持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	37	0.67
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2番1号	35	0.62
三井生命保険株式会社 (常任代理人 日本トラスティ・ サービス信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町1丁目2番3号 (東京都中央区晴海1丁目8番11号)	35	0.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	35	0.62
朝日火災海上保険株式会社	東京都千代田区神田美土代町7番地	35	0.62
株式会社トーヨー	神戸市東灘区向洋町西5丁目9番	35	0.62
計	—	3,610	64.56

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 300	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 5,590,700	55,907	—
単元未満株式	普通株式 630	—	1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,591,630	—	—
総株主の議決権	—	55,907	—

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社ピエトロ	福岡市中央区天神 三丁目4番5号	300	—	300	0.00
計	—	300	—	300	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高 (円)	785	789	799	826	840	855
最低 (円)	766	766	770	791	819	800

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

また、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日内閣府令第5号）附則第7条第1項第1号ただし書き及び第4号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、有限責任監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって、監査法人トーマツから名称を変更しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,033	757,444
預け金	73,094	70,320
売掛金	802,526	856,730
製品	49,238	49,216
仕掛品	2,048	1,791
原材料及び貯蔵品	118,016	98,566
その他	109,010	130,963
貸倒引当金	△20,575	△16,390
流動資産合計	2,087,391	1,948,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 1,890,472	※1 1,767,491
土地	1,968,498	1,968,498
その他（純額）	※1 235,506	※1 133,247
有形固定資産合計	4,094,477	3,869,237
無形固定資産	7,436	6,942
投資その他の資産		
敷金及び保証金	809,338	718,362
その他	395,217	601,177
貸倒引当金	△37,693	△86,680
投資その他の資産合計	1,166,862	1,232,859
固定資産合計	5,268,776	5,109,039
資産合計	7,356,168	7,057,681
負債の部		
流動負債		
買掛金	401,394	428,618
短期借入金	1,700,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	522,060	538,524
未払法人税等	44,283	14,398
賞与引当金	58,075	52,527
その他	468,195	507,978
流動負債合計	3,194,007	3,042,046
固定負債		
長期借入金	968,518	1,098,588
退職給付引当金	58,465	59,288
役員退職慰労引当金	337,081	326,122
その他	169,987	132,731
固定負債合計	1,534,051	1,616,730
負債合計	4,728,059	4,658,776

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,679,274	1,469,576
自己株式	△284	△284
株主資本合計	2,670,312	2,460,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,154	△747
為替換算調整勘定	△57,137	△60,962
評価・換算差額等合計	△53,982	△61,709
少数株主持分	11,779	—
純資産合計	2,628,109	2,398,904
負債純資産合計	7,356,168	7,057,681

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,562,442	4,337,256
売上原価	2,191,185	1,825,014
売上総利益	2,371,256	2,512,242
販売費及び一般管理費	※1 2,318,600	※1 2,109,935
営業利益	52,656	402,306
営業外収益		
受取利息	2,251	849
受取配当金	318	388
為替差益	548	—
その他	944	965
営業外収益合計	4,063	2,203
営業外費用		
支払利息	22,603	19,197
その他	2,693	4,673
営業外費用合計	25,297	23,871
経常利益	31,422	380,638
特別利益		
負ののれん発生益	—	85,904
その他	—	16,844
特別利益合計	—	102,748
特別損失		
固定資産除却損	—	371
減損損失	119,537	—
貸倒引当金繰入額	56,696	—
その他	34,593	—
特別損失合計	210,828	371
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△179,405	483,015
法人税、住民税及び事業税	4,848	38,593
法人税等調整額	△60,505	145,642
法人税等合計	△55,657	184,236
少数株主損益調整前四半期純利益	—	298,779
少数株主損失(△)	—	△380
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,748	299,159

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,343,610	2,221,383
売上原価	1,138,633	919,213
売上総利益	1,204,976	1,302,170
販売費及び一般管理費	※1 1,167,194	※1 1,101,466
営業利益	37,782	200,703
営業外収益		
受取利息	1,094	298
受取配当金	190	259
その他	413	844
営業外収益合計	1,697	1,403
営業外費用		
支払利息	11,486	9,565
その他	1,874	2,691
営業外費用合計	13,361	12,257
経常利益	26,117	189,848
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	—	10,130
その他	—	597
特別利益合計	—	10,727
特別損失		
固定資産除却損	—	29
減損損失	119,537	—
貸倒引当金繰入額	51,196	—
その他	5,277	—
特別損失合計	176,011	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149,893	200,546
法人税、住民税及び事業税	2,382	25,513
法人税等調整額	△56,947	63,369
法人税等合計	△54,565	88,882
少数株主損益調整前四半期純利益	—	111,664
少数株主損失(△)	—	△380
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95,328	112,044

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△179,405	483,015
減価償却費	128,704	99,020
減損損失	119,537	—
負ののれん発生益	—	△85,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67,147	△44,016
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,068	△2,452
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,812	△822
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,670	10,959
投資有価証券評価損益(△は益)	25,672	—
受取利息及び受取配当金	△2,569	△1,237
支払利息	22,603	19,197
売上債権の増減額(△は増加)	26,250	29,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,550	△14,877
仕入債務の増減額(△は減少)	27,062	△32,326
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,397	7,860
その他	△59,316	△28,917
小計	192,083	439,369
法人税等の支払額	△5,236	△9,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,846	429,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,875	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△56,979	△74,350
会員権の売却による収入	8,188	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △10,491
敷金及び保証金の回収による収入	53,472	99,013
利息及び配当金の受取額	4,025	1,600
その他の収入	9,747	—
その他の支出	△31,183	△42,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,604	△57,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△251,424	△299,324
配当金の支払額	△83,389	△89,179
利息の支払額	△22,807	△17,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,621	△206,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,358	264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,261	166,374
現金及び現金同等物の期首残高	772,503	752,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 822,765	※1 919,295

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、株式会社ピエトロズパスタは株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 3社
2. 会計処理基準に関する事項の変更	第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合及び事業分離等から適用することができることになったことに伴い、これらの会計基準等を早期適用しております。

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却の方法として定率法を採用しており、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,941,247千円 であります。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,974,090千円 であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。
給与手当 658,976千円	給与手当 632,746千円
貸倒引当金繰入額 13,822千円	貸倒引当金繰入額 2,049千円
賞与引当金繰入額 38,769千円	賞与引当金繰入額 33,684千円
退職給付引当金繰入額 18,518千円	退職給付引当金繰入額 5,495千円
役員退職慰労引当金繰入額 10,132千円	役員退職慰労引当金繰入額 10,959千円

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。
給与手当 328,523千円	給与手当 336,992千円
貸倒引当金繰入額 6,410千円	貸倒引当金繰入額 2,881千円
賞与引当金繰入額 20,057千円	賞与引当金繰入額 19,140千円
退職給付引当金繰入額 7,915千円	退職給付引当金繰入額 1,842千円
役員退職慰労引当金繰入額 5,171千円	役員退職慰労引当金繰入額 5,167千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 902,059千円	現金及び預金勘定 954,033千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金 Δ 135,031千円	預入期間が3ヵ月を超える定期預金 Δ 107,832千円
預け金勘定 55,737千円	預け金勘定 73,094千円
現金及び現金同等物 <u>822,765千円</u>	現金及び現金同等物 <u>919,295千円</u>
	※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳
	株式の取得により新たに株式会社ピエトロズパスタを連結したことに伴う連結開始時の主な資産及び負債の内訳並びに株式の取得価額と取得による支出(純額)との関係は次のとおりです。
	流動資産 58,259千円
	固定資産 392,027千円
	流動負債 Δ 124,359千円
	固定負債 Δ 182,863千円
	負ののれん Δ 85,904千円
	少数株主持分 Δ 12,160千円
	株式の取得価額 <u>44,999千円</u>
	現金及び現金同等物 <u>34,507千円</u>
	差引：株式の取得による支出 <u>10,491千円</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 5,591,630株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 300株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月23日 定時株主総会	普通株式	89,461	16	平成21年3月31日	平成21年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,121,830	1,177,351	44,427	2,343,610	—	2,343,610
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	487	487	(487)	—
計	1,121,830	1,177,351	44,915	2,344,097	(487)	2,343,610
営業利益又は営業損失(△)	264,948	△27,325	23,380	261,003	(223,221)	37,782

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,196,259	986,527	38,596	2,221,383	—	2,221,383
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	667	667	(667)	—
計	1,196,259	986,527	39,263	2,222,050	(667)	2,221,383
営業利益	396,170	956	18,131	415,258	(214,555)	200,703

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,246,844	2,224,516	91,081	4,562,442	—	4,562,442
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	974	974	(974)	—
計	2,246,844	2,224,516	92,056	4,563,417	(974)	4,562,442
営業利益又は営業損失(△)	542,639	△82,448	50,863	511,054	(458,398)	52,656

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,433,839	1,820,777	82,639	4,337,256	—	4,337,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,154	1,154	(1,154)	—
計	2,433,839	1,820,777	83,794	4,338,411	(1,154)	4,337,256
営業利益又は営業損失(△)	837,668	△20,982	39,039	855,725	(453,419)	402,306

(注) 1 事業区分の方法

事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売
- (2) レストラン事業……スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 467.93円	1株当たり純資産額 429.04円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,628,109	2,398,904
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	11,779	—
(うち少数株主持分) (千円)	(11,779)	—
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (千円)	2,616,329	2,398,904
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数 (千株)	5,591	5,591

2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 22.13円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 53.50円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△) (千円)	△123,748	299,159
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△) (千円)	△123,748	299,159
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,591	5,591

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 17.05円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 20.04円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△) (千円)	△95,328	112,044
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△) (千円)	△95,328	112,044
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,591	5,591

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月11日

株式会社ピエトロ
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 古賀 光雄 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 白水 一信 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 敦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピエトロの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピエトロ及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月4日

株式会社ピエトロ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古賀 光雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 敦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピエトロの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピエトロ及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。